

神戸市水道労働組合西部支部との交渉議事録

1. 日 時：令和5年11月7日（火）14:00～16:00
2. 場 所：水道局西部水道管理事務所
3. 出席者：
（局） 西部水道管理事務所長、課長、係長
（組合） 西部支部長、副支部長、書記長、他3名
4. 議 題：2024年度 産別要求
5. 発言内容：

（被服・厚生物資関係）

○被服にポロシャツを追加（半袖・長袖）

（組合） 現場作業で汚れることや、濡れることがあり、貸与して欲しい。上着の作業服は、現地で汚れた状態や、濡れた状態のまま、お客様対応がしにくく、上着を脱いだ状態で対応する事が往々にしてあるため。

（局） 安全衛生委員会でも検討されているが、事業所独自の運用は難しいため、改めて支部からも要求があったことを伝える。

○運動靴の貸与

（組合） お客様への説明の訪問時などに着用するため運動靴の貸与を希望する。また舗装や他企業との立会などもあるので、スニーカータイプの安全靴が望まれる。

（局） 事業所独自の運用は難しいため、要求があったことを伝える。この件は安全衛生委員会でも検討されているのでそちらの推移を見ていきたい。

○空調服はファン付きベストとの選択制

（組合） 現在は長袖のみ、ベストの方が腕の廻りなどが風で膨らまない為、作業によっては作業しやすく作業効率があがる。

（局） 空調服は全市統一のものが貸与されている。事業所独自の運用は難しいため、要求があったことを伝える。

○冬用ヒートベストの貸与

（組合） マキタ製であれば空調服バッテリーが共通。冬場での作業だけでなく夜間の作業は特に冷え込むため。

（局） 水道局特有の業務や事情があれば、水道局として統一した運用が必要と考える。要求があったことを伝える。

（執務環境関係）

○2階北側扉にインターフォン設置

（組合） 時間外来訪者用に設置して欲しい。業者対応（請負・単契・給水、その他、事務所の工事等）

（局） 工事等業務の関係者が時間外に来訪する必要があるなら対応を検討したい。（モニター付きのインターフォン等）

○2階会議室の照明スイッチを会議室内に設置

（組合） 会議室照明スイッチがないため、研修等でプロジェクターを使う際など、照明の入り切りなど非常に不便である。

（局） 統合のために急ごしらえで会議室を作ったので、会議室に照明スイッチを設置出来ていなかった。改善が必要であるため、営繕要求をして対応していきたい。

(車両関係)

- 車両を作業車タイプに変更。(リース車の途中車両変更)
- (組合) 減車に伴い、作業車が減った為、サービスカーなどを割り振りしているが、人や物を乗せる際には作業車タイプの方が汎用性が高い。(リースであれば途中で車両の変更が可能では)
- (局) 局所有車からリース車への移行時には作業車タイプに変更していきたい。リース途中の車両の変更については要求があったことを伝えたい。

- バックに入れた際のブザーが鳴らないようにした車両の導入。もしくはその対策。
- (組合) 夜間での運転時に近隣住民に迷惑がかかる為、バックのブザーが鳴らない様な仕様にして欲しい。
- (局) 対応を進めていると聞いている。

(その他)

- IJCAD の USB キーの増加
- (組合) 請負工事を初め様々な業務で CAD が必須となっている為、追加を希望する。
- (局) CAD を使用する機会が増大していることは認識している。必要な数量を精査の上、契約変更の可否を所管課と協議したい。

- P-des のライセンスキーの増加
- (組合) 水栓作業などで、利用する職員が増えてきているので追加を希望する。管網再構築やバックアップ、その他大掛かりな解析を行う際には、完成するまでに時間がかかる為、他の解析を行うときに、解析が出来ないことがある
- (局) 業務執行体制の変更に伴い利用する職員が増えてきていることは認識している。予算や他の事業所とのバランスもあるので、必要な数量を精査の上、契約変更の可否を所管課と協議したい。

- コールセンター業務の見直し
- (組合) コールセンターから下水やその他の水道に関係ない案件の電話が多く回ってくるので、マニュアルを再整備の上、苦情処理も含めて、コールセンター対応の見直しを行い、管理事務所受付及び対応を減らして欲しい。電話対応前に要件別に番号で割り振りする形の導入。
(例 1は漏水、2は料金 など)
- (局) 所管課に要求があったことを伝える。

- 各パートの業務量についてバランスの取れた人員配置の見直し
- (組合) 各パートで仕事を分けているが、忙しい所とそうでない所が出ている。人員配置を含めた業務バランスを見直して欲しい。パート毎で、縦割りの体制となっている為、他のパートが何をしているか分かりにくく連携がとりにくい。業務内容によりある程度パートを分ける必要はあると思うが、もう少し柔軟性がある方が、全体としてバランスが取れた体制になると思う。
- (局) 係長を単位として業務の割り振りと人員配置を行っている。各パートの人員は、事務所全体の状況を把握し、必要に応じて業務分担や人員配置の調整を行っている。旧西部と旧垂水で人の行き来の活発化や、パートを超えた応援体制などは所属における最重要事項の一つと考えている。工事監督の設計変更・検査や管理パートの事故対応など一時的な繁忙は事務所全体で応援して対応するが、これまでも朝礼等で話をしているように、声を掛けづらい状況の払拭や良好な職場の雰囲気醸成を、職場全体ですらに進めていきたい。

○水道技術転任試験の継続

(組合) 局内で一定期間行われてきたが、この度で終わりではなく、継続して欲しい。今までも、局内転任や人材活用なども継続してきた経緯があるので、同様に続けて欲しい。

(局) 水道局としては厳しい回答をせざるを得ないところである。所属としては職員の強い思いをしっかりと受け止め、それを伝えていきたい。